

自分で育てた有機野菜は安全で美味しい！

カロリーオフセットは、アフリカ第2峰のケニア山麓に位置するキリンヤガ地方でアグロエコロジーと呼ばれる有機農業を実施するコミュニティ菜園をサポートしています。2021年5月にこの地域のコミュニティ菜園の3か所を訪問しました。

菜園に始めた理由は様々ですが、農薬の使われていない、安全で美味しい野菜や果物を食べることの喜びや、伝統的な野菜や果物の苗や種子を継承していくことの重要性などを、メンバーがそれぞれの言葉で語ってくれました。コロナウイルス感染症の影響でトレーニングなどの活動は停滞しましたが、農作業をする時間が増えたことはポジティブな影響だとも話してくれました。



365の農園ができました
(2021年8月時点)

菜園クラブの活動風景

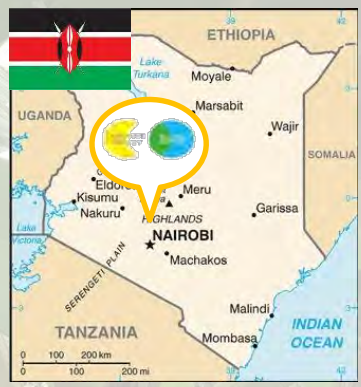


Njegas菜園クラブはユースと退職者からなるグループで、退職者は作物の比較栽培、ユースは有機農薬やコンポストづくりなど、お互い興味のある活動をしています。

種を守ることは食を守ること



Kakiコミュニティ菜園は女性だけのコミュニティ菜園です。この菜園では、様々な根菜や葉物野菜の種を収穫しています。収穫した種から優良種を選び、販売したりメンバーで分けたりしています。ケニアではF1と呼ばれる種子が広く流通していますが、F1種は一代種で野菜や果実を収穫するとその種は発芽しないため、農家は毎年種子を購入する必要があります。Kaki菜園では固定種の作物の種を収穫し、次の季節に栽培し、再び種子を取る作業を続けています。日本でも昭和30年ごろまでは固定種で種子を収穫して、次の年に植え付ける方法で野菜や果物が栽培されていました。



アフリカ東部に位置するケニアは、国土が日本の1.5倍の約58.3万Km²、東はインド洋、北は砂漠、中央部の高地、南はサバンナと地形は変化に富んでいます。

人口は4,756万人で、観光や農業が経済の中心で、人口の約8割が農業に従事して生計を立てています。